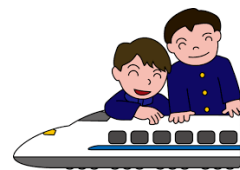


ほん はな えが お がっこう 本と花と笑顔いっぱい为学校

よっかいちしりつ み えだいらちゅうがっこう がっこうつうしん
四日市市立三重平 中学校『学校通信』 NO.4 令和元年5月13日 (月)

「令和」のはじめに

5月1日から元号が変わりました。毎日の生活は何も変わらないのに、新年を迎えた正月と同じように、何となく身が引きしめるような気分です。平成30年間をふりかえると学校を取り巻く環境もずいぶん変わりました。全国学力・学習状況調査が始まったり電子黒板が導入されたりしたことは、当時としては大ニュースでしたが、今は当たり前のことになっています。今後もさまざまな変革があるでしょうが、変わらないものや大切にしていかなければならないことをしっかり見据えて、教育活動をしていきます。そして、「令和」の持つ意味である「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」社会をめざしていきたいと思えます。



☆☆ 自然教室・修学旅行・職場体験 ☆☆

16日(木)～17日(金)は1年生の自然教室、29日(水)～31日(金)は3年生の修学旅行、6月5日(水)～7日(木)は2年生の職場体験学習があります。今はそれぞれの行事に向かって準備の真っ最中です。事故なく安全で実りの多い行事にしていきたいです。

自然教室では、校区の防災に関する場所を「平ウォッチング」したあと自然の家に行き、午後はカヤック体験、夜はナイトハイクをします。2日目は野外炊事とオリエンテーリングをします。2日間とも晴れてたくさんの自然体験ができることを願っています。

修学旅行1日目は国会議事堂、早稲田大学、浅草、スカイツリーを見学します。2日目は班ごとに都内を分散学習し、ディズニーランドに集合します。3日目はクラス別にパナソニックセンター、そなエリアに行きます。首都東京の政治経済文化をしっかりと学んできたいと思えます。

職場体験学習は、さまざまな業種の企業や学校、保育園、福祉施設など、合計24か所にわかれて仕事の体験をします。3日間という短い期間ですが、仕事をするということの厳しさや楽しさを味わってほしいと思えます。

☆☆ 10連休 ☆☆

今までにない10連休を皆様はどう過ごされたでしょうか。心身ともにリフレッシュできた反面、生活リズムが乱れたり仕事や学校へ行く足取りが重かったりしたのではないのでしょうか。1週間経ってようやく日常生活のリズムが戻った気がします。報道でもいろいろと取り上げられていましたが、10連休が学校にも影響しています。

中学校では1年間の授業時数が決められています。3年生は卒業式が3月初旬(本年度は3月6日)と少し早いので、授業時数の確保が毎年課題となっています。加えて、今年は10連休と10月22日の即位の礼正殿の儀による休日、例年よりさらに授業時数が少なくなっています。そこで、3年生は家庭訪問を希望制にして授業時数を確保しました。今後も無理のない範囲で少しずつ授業時数を確保していきます。

また、全学年の1学期の中間テストを中止しました。例年、5月中旬頃に中間テストをしていますが、今年は10連休と自然教室・修学旅行・職場体験の準備のために十分な授業時間を確保できず、テスト範囲を確保することができないのが理由です。中間テストがないことで1学期末の評価が気になるかもしれませんが、期末テストだけでなく、小テストや単元テスト、提出物や授業中の学習状況など、授業のようすを総合的に評価しますので、心配することはありません。毎日の学習を確実にやっていくことが大切です。

☆☆ 三重平 中学校がなくなる? ☆☆

昨年度から何回も「三重平 中学校はなくなるのですか?」と質問を受けています。三重平 中学校がなくなるといううわさが広がっているようですが、結論から言うと、**三重平 中学校はなくなりません。**確かに生徒数は以前よりずいぶん減少していますが、四日市市教育委員会によると、今後10年程度は今と同じくらいの生徒数の見込みです。むしろ、校区の小学校低学年の子どもたちの人数が増加してきており、5年後くらいからは中学校の生徒数も増加していくという情報もあります。

うわさとは恐ろしいものです。誰かの小さなつぶやきが真実であるかのように広がっていき、いつの間にか本当のことが見えなくなっていくます。そんなことを実感した「三重平 中学校がなくなる?」事件でした。

